

住まいの豆知識

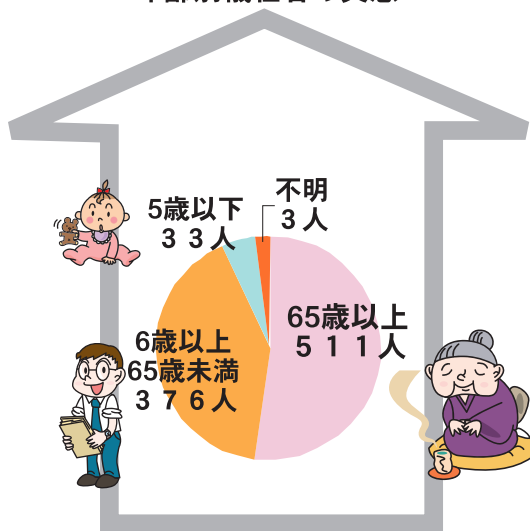
冬になると気になる「火事」 防火対策はインテリアから！

一昨年には17,280件の住宅火災が発生し、923の方が亡くなっています。

尊い命や大切な財産を一瞬で失ってしまう恐ろしい火事。

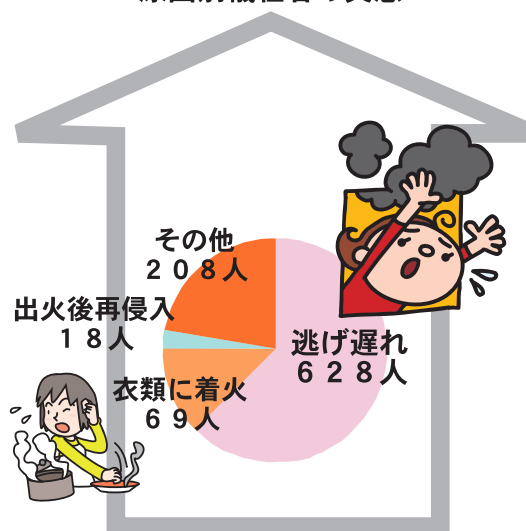
冬は特に暖房器具などによる出火の多い時期です。

年齢別犠牲者の実態



住宅火災死者数 923人

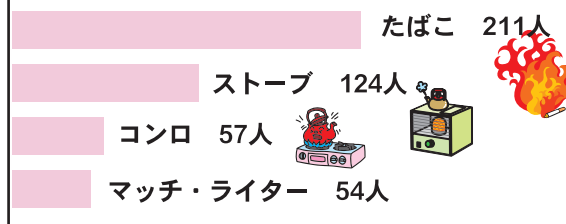
原因別犠牲者の実態



住宅火災死者数 923人

出火原因で多いのがタバコの火。多くの犠牲者を出したホテルニュージャパンの火災も宿泊客の寝タバコが原因でした。

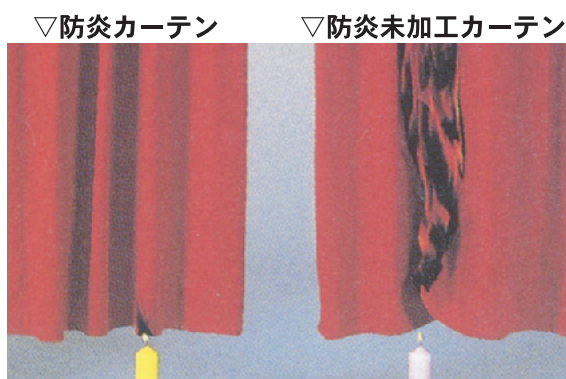
小さな火は寝具や洗濯物、近くの新聞紙などを火元に大きく成長し、上方向に向かって広がっていきます。カーテンやタンスなどを伝って天井まで広がり、室内の空気温度が高くなると一気に爆発したように火が大きくなります。これをフラッシュオーバーと言い、この状態になると消火器での消火は無理になり、すぐにも避難しないと命の危険にさらされます。



(平成14年度版消防白書より)

◇◇インテリアでできる防火対策－防災カーテン◇◇

火事を防ぐには、失火しないことが基本ですが、万一失火した時に広がらないようにすることも大切です。前述したように火は上に向かって成長します。カーテンは火のバイパス。燃えやすいカーテンであれば、一気に天井まで火が達し、消火どころか避難さえも難しくなります。この対策として開発されたのが「防災カーテン」。法令では高層住宅にのみ設置が義務づけられていますが、その効果を考えれば、ぜひ住まいにとりいれたインテリアのひとつ。大きな火事になることを防ぐ有効な防火グッズです。



！防災カーテンについてはお気軽にエフビースタッフにお問合せ下さい！

ビッグベアの知恵袋

☆セーターなどのゴム編み部分がのびてしまったらアイロンのスチームをたっぷりかけ、暖かい内に形を整えて、ゴム編み部分を縦に引っ張るようにしながらアイロンをかけると、元に戻ります。

☆苺の果糖には、二日酔いの原因となるアセトアルデヒドを分解する働きがあります。飲んだ後に、この苺を食べると二日酔いの予防になります。



有限会社エフビー

神戸市兵庫区小松通5丁目2番9号
☎ 078-681-1467 fax 078-681-1477

代表 大熊 智己